

なかしべつ

議会だより



活力みなぎる緑の郷土 なかしべつ

- 平成22年度予算審査特別委員会 2
- 一般行政報告・教育行政報告 3
- 一般質問 4～7
- 3月定例会・条例改正 8
- 林活研修会・第1回臨時会・人事案件 9
- 予算概要・審査特別委員会一問一答 10～11
- 常任委員会活動レポート 12
- 意見書 13
- 行事関係 14

平成22年4月

No. 85

今年もさわやかな春の風が桜の花びらをゆらします

複数年度を視野に入れたの予算編成

一般会計予算 **127億8,300万円**

前年比 **0.4% 減**



議論した予算審査特別委員会

重点分野の「選択」と その効果を議論した予算編成

3月定例会が開催され、平成22年度当初予算が審議されました。

本町議会では当初予算および関連条例などについて予算審査特別委員会を設置し、集中審査を行い、関係する部局より細部の説明を求め、また問い質しをし、一般会計127億8,300万円、特別会計と企業会計合せた総予算額は234億8,300万円、対前年度比2.4%の減の22年度予算を可決しました。
(詳細は10ページ)

中標津町議会報告会 開催のお知らせ

中標津町議会は町民の負託に応え、議会が主体となり町民と連携することが重要であり、説明責任を果たすため、地域に外向き議会活動の状況などを報告するとともに、議会や町政に対する皆様の意見や提言などを聞く場として、議会報告会を実施します。報告会は議会で決定した事項を基本とします。

記

中標津会場

・開催日時

平成22年8月5日(木)

午後7時30分～9時30分

開催場所

中標津町総合文化会館

(コミュニティホール)

計根別会場

・開催日時

平成22年8月5日(木)

午後7時30分～9時30分

開催場所

中標津町交流センター

(研修室)

※各会場に議員が半数ずつ出席します。

一般行政報告



要望等について

北方領土隣接地域振興対策根室管内市・町連絡協議会として、札幌段階において、知事・議長及び関係者に対し、隣接地域振興等基金域内運用の調査検討の継続と振興対策に向けた道独自財源対策の充実にについて要請した。

根室市で開催された道議会北方領土対策委員会道内調査時の「5市町及び関係団体との意見交換会」において、ビザなし交流・北方四島患者受入れにかかる中標津空港の活用、返還運動啓発活動と観光



ピザなし交流

振興の連携強化及び日本とロシアの子供によるスポーツ・文化の交流推進について要請した。

コケイン症候群の難病指定に関して、知事・根室支庁長民主党厚生労働担当副幹事長ほか関係部局に国の難病性疾患克服研究事業の調査研究対象疾患に指定すること、道の小児慢性特定疾患に指定する

教育行政報告



各種大会出場 結果について

第31回北海道中学生団体対抗ソフトテニス大会に中標津中学校女子チームが出場、第40回北海道中学校スケート大会に中標津、広陵、計根別中学校から計10人が出場、各学校から計5人が第30回全国中学校スケート大会に出場、平成21年度全道中学校新人戦錬成大会及び第10回北海道中学校新人剣道大会に、中標津中学校男子剣道部が団体戦に出

ことに関して要請した。

基本農政確立並びに酪農畜産経営安定に関して、民主党農林水産担当副幹事長、政務官、他関係機関に対して、国家食料戦略の構築、農村基本計画の見直し、加工原料乳生産者補給金制度の継続を要請。

寄贈金品について

町に対して現金で2件、20万円、物品で7件の善意が寄せられました。

場、第42回北海道中学校スキー大会に広陵中学校1年生男子が出場、全道フットサル選手権2010アンダー14の部に中標津中学校サッカー部が出場、それぞれに健闘しました。

第32回北海道スポーツ少年団競技大会に中標津スピードスケート少年団から小中学校男子18人、同じく女子14人が出場、中学生男子1人小学生男女4人が各種目で優勝、また16人が上位入賞。
第49回東北北海道スピードス



ケート大会兼第12回東北道市町村対抗スピードスケート競技会に中標津スピードスケート少年団から男子13人、女子12人が出場し5人が入賞。

第32回ジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会北海道予選に中標津町水泳少年団から男子1人、女子5人が出場健闘、広陵中学校1年生女子が全国大会の出場権を獲得しました。

各賞受賞について

アメリカ合衆国南カルフォルニア北海道人会主催の第13回道産子高校生ロスアンゼルス・ホームステイ・プログラ

ムにおいて中標津農業高校2年男子が小論文を応募、全道57点の応募の中から見事選出され、ロスアンゼルスにホームステイし、8日間の研修プログラムに招待されることが決定しました。
中標津農業高等学校農業クラブは第58回東北道中学校農業クラブ実績発表大会でクラブ活動発表部門において、「おいでよ！中標津農業高校！！ここはクラブ員一人ひとりが主役になれる学校」が優秀賞に入賞、全道大会に出場活躍しました。
平成21年度根室管内教育実践表彰において、丸山小学校、中標津農業高校の2校が表彰されました。



中標津農業高校クラブ発表

一般質問

町政を問う



3月定例会では5人の議員が7問の質問をしました。

理事者から、それぞれ答弁がありましたので要約し掲載いたします。

冬期間の除排雪と街路灯の維持

柴野忠征 議員

今後検討してまいります

町 長

質問



各会計
予算書に
提示され
ている委

託料は、受託企業の専門的、高度な技術で処理し、町民に密接に係り苦情が多い①除排雪、②街路灯の維持について質問と提言を行ないます。

除排雪は当町の企業が実施し、

町長答弁

除排雪、街路灯維持を町内会在住企業に協力を呼びかける仕組みをつくる必要があるのではないか。

①について、昨年4月以降の大雪で出勤回数が多く、公共事業の減少等により、高度な技術者減少、高齢化に伴い、若い技術者が減少、住民からの苦情に迅速に対応し、安全、安心な路線確保のため適宜指導してまいり、除雪基準は、降雪量によって効率的に進めてまいります。町内会への除雪協力について

は、町内会参加のあり方も含め今後検討してまいります。

②について、道路照明、維持管理、修繕は、町内会↓役場生活課↓電気工事業者↓現場確認↓資材調達↓修理となっております、時間がかかる場合は連絡、対応が遅い時は、今後連絡を密にし、連絡体制を強化、道路照明管理は、国、道、民間、中標準町と多岐に渡り、今後は関係団体と調整、検討します。



空港利用客増の取組み

佐藤武志 議員

取組みを効果的に進めたい

町 長



質問

22年度の施政方針で中標津空港を含め道東5空港が連携し、道東の特色ある観光と結合した取組みを進め、空港利用客増を図るとの記述があるが、今や航空機は管内の住民にとり、なくてはならない存在で、ぜひ積極的に

取組んでいただきたいが、現時点での取組みを聞きたい。

一方、リサーチ会社の調査で道内空港ビル10社の内、根室中標津空港ビルだけが2009年3月期決算で、969万円の経常損失と報道され、会社は第3セクターと聞いていますが、赤字の要因と対応策を聞きたい。

町長答弁

20年度より、国・道が道東3

空港連携事業として利用客アンケート調査や地域実証調査を行い、21年度は道東5空港連携事業としました。

22年度は、具体的な利用促進を図るため、地域の資源をさまざまな切り口から、地元の視点・情報を盛り込み、道東の広さを利用し到着と出発を別空港にするなどの取組みを進めます。

また、修学旅行誘致や首都圏からの旅行客誘致のための各種施策に取組みます。

次に根室中標津空港ビルの経常損益についてですが、会社の

株主は34名でエア・ニッポン(株)が筆頭株主で、町も15・4%の株式を保有し、会社は、ここ数年安定した経営を続けています。が経常損失は空港ビルの増改築で、一時的に減価償却費、不動産取得税などの営業費用が増額となったことで、2年後の決算で解消される見込となつていきます。



根室中標津空港ビル

地元建築業にメリットのある施策を

鈴木克弘 議員

中小企業振興基本条例の中で

町 長



質問

地方再生の力ぎは地域の中小企業の育成・支援にかかっている云々でも過言ではありません。事業所のほとんどを中小企業・自営業で占めるこの町にとって景気が低迷する状況の中、極めて厳しい経営環境にあります。

なかでも建築業は、報道等にもありました様に、建築確認申請

が5年前に比べて46%の大幅なダウン、それに加え物件の約30%が町外業者による施工です。

この様な現状の中、国では「住宅版エコポイント制度」を発表し、景気対策の意欲を示している訳ですが、町としても敏感に対処しなければと思います。

建築業に係る業者の裾野も広

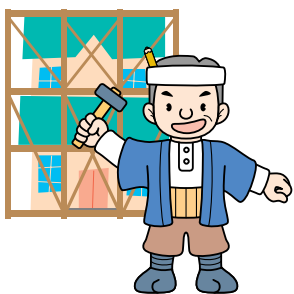
く地域の経済と雇用を支えてきました。今この時こそ効果的な施策を行う必要があると思いますが町長の考えを聴かせてください。

町長答弁

近年の経済状況の悪化により新築住宅の着工件数は減少しており、これらの対策として国は長期優良住宅制度において税の控除、地域環境の温暖化防止と景気回復を目指した住宅版エコポイント制度が創設されました。町としても、技術者の高齢化、若い技術者の確保・経営基盤の

確立のため、建築技術や経営手法の習得を道の研究機関、建築関連団体と連携・協力し、可能な支援をしてまいります。

また今般制定されます中小企業振興条例の中での支援対策の実現に向け、町内の建築業界や関係団体とも連携し、調査・研究をしてまいります。



基礎学力の定着

端 裕子 議員

効果的な活用を探りたい

教 育 長



質 問

09年度
全国学力
テストの
結果、管
内すべての教科で全国平均を大
きく下回り、中学数学A・B共
に「相当低い」となり、課題と
して基礎・基本の定着が一番に
挙げられています。

小学校入学後、集中力も付か

ないうちに、2年生で掛け算な
のですが、理解しないうちに大
事な機会を逸して、読み書き計
算が身に付かないのです。

先生方も時間的余裕がないと
の声が挙がっているので、退職
教員に、ボランティアで算数・
国語の授業の援助に入って、わ
からない子供達に教えてもらう
方法はどうでしょうか。
また児童館等で寺小屋風に子

供達に教えてもらう方法もあり
ますが、いかがでしょうか。

教育長答弁

学力向上を目指し「学力向上
プログラム」や退職教員ボラン
ティア「退職教員等外部人材活
用事業」を活用し、21年度は3
人になっています。

また学校支援地域本部事業と
してボランティア活用を検討し
ているところです。

再質問

学校支援ボランティアも丸2
年も経つの8人しか登録者が
いなくてあまり活用されていな

いと聞いているが、現状把握が
出来ていないのではないかと。

先生方の意見を充分調査し、
積極的なボランティア要請活動
を展開し、町民目線、現場主義
で行動する町政を期待します。

教育長答弁

08年度から退職教員を配置し
ているが要望には足りないの
で効果的な活用を探りたい。



お金があつたら実現させたい事・日頃から議論をする事

松村康弘 議員

町民目線・現場主義で行動

町 長

質 問



この度
の国の景
気浮揚対
策に対応

する我町の補正予算の本身であ
るが、地域に暮す住民が本当は
実現できたらいいと思っている
分野には配分されず、それほど
優先順位が高いと思えないもの
が提案されている様に感じます。

思うに近年になって、ずっと
事ある度にお金がないとアナウ
ンスされ、私達はもしも財源が
あつたら何を実現させたいかに
ついて議論をしておく必要があ
るのではないのでしょうか。

地域のコミュニティー、町内
会は何を実現したいのか、町職
員は中標津町は何ができるのか
という様な事を議論していただ
き、それを公開議論の中で取捨

選択していくのが町理事者とし
てのこれからの時代のスタンス
ではないでしょうか。

町長答弁

この度の平成21年度第2次補
正予算「地域活性化・きめ細か
な臨時交付金事業」は民主党が
政権与党となって、初めて取り
組んだ補正予算ですが、具体的
に用途が通知されたのは12月28
日であり、この時点で対象事業
は「地元の中小企業・零細企業
者の受注に資するような、きめ
細かなインフラ整備事業」と最
初から公共施設または公用施設

の建設、修繕に係る事業に絞ら
れており、今後、広く住民と各
種団体などと議論可能な緊急経
済対策等が示された場合、私を
初め職員一人ひとりが「町民目
線」「現場主義」で行動する町
政を実現すべく、質問の趣旨を
充分反

映して
まいり
たいと
思っ
てお
りま
す。



役場主導で大口径カラマツによる中標津型建築実現

松村康弘 議員

利用の可能性を検討

町 長

質問

地域の経済浮揚対策として、現在チップや梱包材にしか用いられていない樹齢50年に達したカラマツの大口径木は、エゾ・トドマツと比較して一本どの位の価格差があるのか。

町有林のカラマツを切り出して地元で機械乾燥をかけてくるいの出なくなった大口径木を構造物材（強度を有して家を支える

材料）として町の建築に採用していく過程で民間に技術移転を図り、カラマツに対する先入観を取り除いていく事は行政だけにできる機能だと考える。

特に赤い芯材には強い抗菌作用を有する事も伺われ、町としてこのカラマツを積極採用して、地域経済、地域建築業の浮揚と中標津型建築という文化確立を目指すべきではないか。

町長答弁

木材価格ですが、¹mエゾマツが1万4000円、カラマツが1万1000円であり価格差は歴然といたしておりますが、このカラマツの大口径木を構造物材とするには高温により十分乾燥させなければ建築後に割れや隙間が発生するなどの問題があると言われ、建築後数年間の注意が必要であると認識いたしております、公共施設において、地元業者のカラマツの乾燥など品質管理と従来よりも建築用がかさむということについては、現状の財政

自治基本条例・行政と民間の協働のあり方

松村康弘 議員

住民自治の本質と成文化

町 長

質問

これから我町においては自治基本条例制定に向けての議論が始まりますが、今日まで国内の自治体で制定された条例を調べてみると、住民と行政、または行政システムに関する条項が多く、基本的な人権である「自由」に基づき自らをガバメントする

根底の権利について、私達日本人が深く自覚していない事による

り「住民自治」の視点が不足している様に感じます。

この視点に立つと我々議員が果たすべき責務のひとつに団体自治に対する住民自治の視点からのチェックがある事に理解が及び、これから成文化されるこの条例に、十分議論を尽くされ、行政と民間の「協働」が真に実現する事を期待しますがいかがでしょうか。

町長答弁

町民からの信託によって自治体政府が成り立つ地域主権型行政を目指すためにも、制定予定の自治基本条例の役割は大きいと考えます。

中央では「新しい公共」円卓会議が発足し、過去の阪神・淡路大震災において、交通が遮断され、行政機能が麻痺した際に被災地の人々を支えたのは政府が主導したわけでもなく集ったボランティアと町内会などコミュニティの力が大きかった事が主な教訓となっており、官が

状況や公共施設に利用した後の民間への波及効果等を考慮のうえ、慎重な議論が必要でありますが、今後道立林産試験場と連携して大口径カラマツの利用の可能性を検討してまいりたいと思います。



仕切って、官の都合で、官だけで公共を行なう公共イコール官の考えから脱却したこの「新しい公共」のあり方を今後注視し、住民自治の本質を共有していく中で成文化をまとめてまいりたいと考えております。



3月定例会で決まりました。

平成22年3月8日から18日まで開催し、
議決された主なものをお知らせします。

3月補正額

◇一般会計補正予算
・4549万円を追加し、140億1162万円となりました。

◇国民健康保険事業特別会計補正予算
・1836万円を減額し、26億2247万円となりました。

◇介護保険事業特別会計補正予算
・8367万円を減額し、11億1902万円となりました。

◇下水道事業特別会計補正予算
・343万円を減額し、16億9201万円となりました。

◇公設地方卸売市場事業特別会計補正予算
・769万円を追加し、3750万円となりました。

◇簡易水道事業特別会計補正予算
・134万円を減額し、2億5141万円となりました。

◇水道事業会計補正予算
・196万円を減額し、4億5224万円となりました。

条例の改正、 制定が提案されました。

(主な内容を掲載します。)

◇特別職の職員の給与に関する条例及び中標津町教育委員会教育長の給料及び旅費等に関する条例の一部を改正する条例
・平成22年4月1日から平成23年3月31日までの間に特別職の給料月額10%、教育長5%、それぞれ減じる条例を改正する。
この条例は平成22年4月1日より施行

◇中標津町国民健康保険税条例の一部を改正する条例
・限度額と税率が平成22年度から変更になり、内容は限度額が4万円上がり73万円

に、税率は平成21年度まで課税対象としていた資産が廃止、所得割・平等割・均等割の3区分での課税変更、平均では1世帯当たり約7.9%程度下がり、3人世帯では年収300万円までは1万7000円程度の減額

◇中標津町重度心身障害者及びひとり親家庭等医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例
・文中「若しくは小腸若しくはヒト免疫不全ウイルスによる免疫」を「小腸・ヒト免疫不全ウイルスによる免疫若しくは肝臓」に改める。
平成22年4月1日より施行

◇中標津町簡易水道事業条例の一部を改正する条例
・第2条第3号「3320人」を「3190人」に、第4号「6860㎡」を「7550㎡」に改める。
この条例は北海道知事の変更認可の日から施行

◇中標津町小作科協議会設置条例を廃止する条例

◇中標津町中小企業振興基本条例(制定)
・雇用の確保や町の活力と成長発展に欠かせない重要な課題であり、町、企業、町民等が理解と共感をもって協働のもと、中小企業をより元気にすることで本町経済の発展と町民の生活の向上に資する。
平成22年4月1日より施行

◇中標津町看護職員確保対策貸付金条例
・正職員として勤務しようとする助産師・看護師・准看護師に対し貸付をする条例
この条例は、公布の日から施行

◇根室支庁管内町村会公平委員会規約の一部を改正
・題名及び第2条中「根室支庁管内町村」を「根室町村等」に第4条中「北海道根室支庁管内」を「根室」に改める。
この条例は平成22年4月1日より施行

◇釧路・根室広域地方税滞納整理機構規約の一部変更
・第4条中「釧路支庁庁舎内」を北海道釧路総合振興局庁舎内に改める。
この規約は平成22年4月1日より施行

◇北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約の一部変更
・別表中「胆振西部衛生組合」「釧路広域市町村圏事務組合」及び「留萌広域行政組合」を削り、「留萌市外2町衛生センター組合」を「留萌南部衛生組合」に改める。
この規約は総務大臣の許可の日から施行

◇北海道市町村職員退職手当組合規約の一部を改正
・別表(網走)の項中「網走支庁管内町村交通災害共済組合」、同表(胆振)の項中「胆振西部衛生組合」を削る。この規約は総務大臣の許可の日から施行

◇根室広域圏振興協議会の廃止
・各市町の枠を越えた連携の下産業基盤の整備、社会開発の推進に取り組んでまいりましたが、国の「広域行政圏計画策定要綱」の廃止に伴ない廃止。
廃止予定は平成22年3月31日

◇公の施設に係る指定管理者の指定
・公の施設、当幌研修館他23施設を指定管理者に指定。
指定期間は、平成22年4月1日から平成26年3月31日まで

◇北海道市町村総合事務組合規約の一部変更
・「留萌支庁14」を「留萌支庁13」に「網走支庁24」を「網走支庁23」に「胆振支庁14」を「胆振支庁13」に改め、「留萌広域行政組合」「網走支庁管内町村交通災害共済組合」「胆振西部衛生組合」を削り、「留萌市外2町衛生センター組合」を「留萌南部衛生組合」に改める。
総務大臣の認可の日から施行

釧根林活連絡会議研修会

2月18日、上記の研修会が釧根の議員、市町村職員等80名強が参加し開催されました。

会は、3名の方が講演する形で進行しました。

一、ヨーロッパの先進林業機械（東北北海道木材協会大澤副会長）スエーデン、フィンランドに視察の際、林業で使用されている先進的な機械を動画で紹介され、用途に応じ多くの機種があることがわかりました。

二、国有林の取組みと「森林・林業再生プラン」（北海道森林管理局帯広事務所岡崎副所長）初めに北海道の森林の所有形態にふれ、国有林305万ha（55%）道有林61万ha（11%）その他民有林等188万ha（34%）また、天然林216万ha（71%）人工林67万ha（23%）その他21万ha（7%）にも分けられると報告された。

取組みとして、①地球温暖化防止対策の推進②林業・木材産業の再生・国有林材の安定供給と道産材の利用推進③国民の安全・安心の確保のための国土の保全等の推進④生物多様性保全の推進⑤森林とのふれあい・教育的利用等の推進⑥知床世界自然遺産地域における取組みを上げ、また森林・林業再生プランの理念、目指すところ、スケジュールを説明された。

三、林業・木材産業を取り巻く情勢と平成22年度の施策（北海道水産林務部根布谷参事）

初めに21年の世界・日本の特徴的な動きとして、金融パンニック、中国の飛躍、アメリカの凋落、地球温暖化問題の深刻化を上げ、日本については、政権交代、公共事業の大幅削減、コンクリートから人へ、円高デフレの悪循環時代の到来を上げました。

我が国の林業・林産業を取り巻く環境については、住宅着工の大幅減少、丸太輸入量の大幅減少、製品価格の低迷があり大変厳しい状況にあります。

国としても国産材の利用促進に向けた取組みがされている状況にあります。

また北海道の森林、林業・木材産業の現状に触れ、北海道の22年度の林務施策の説明がありました。



第1回 臨時会

（平成22年1月15日）

除雪経費は本年度当初予算で約1億円を計上していたが、昨年4月末の大雪に始まり、12月下旬の降雪では平年の約2倍となる87cmの降雪量。今年に入ってから1月5日から6日にかけての降雪、13日、14日には市街地の幹線道路及びバス路線、通学路交差点などの部分排雪などで出動した。

その結果、除雪経費に予算不足が見込まれるため、除雪委託料として7000万円が増額補正され、除雪にかかる経費は約1億7000万円となりました。

人事案件

◇根室支庁管内町村公平委員の選任に同意する

住所 別海町別海川上町139番地の77

氏名 葛西 祐氏

生年月日 昭和17年6月24日

任期 平成22年4月1日から4年間



◇固定資産評価審査委員の選任に同意する

住所 西9条北9丁目7番地

氏名 渡邊 利満氏

生年月日 昭和15年6月2日

任期 平成22年3月23日から3年間



◇人権擁護委員の選任に同意する

住所 中標津町

氏名 東4条南7丁目29番地

生年月日 昭和16年3月8日

任期 平成22年3月8日から3年間

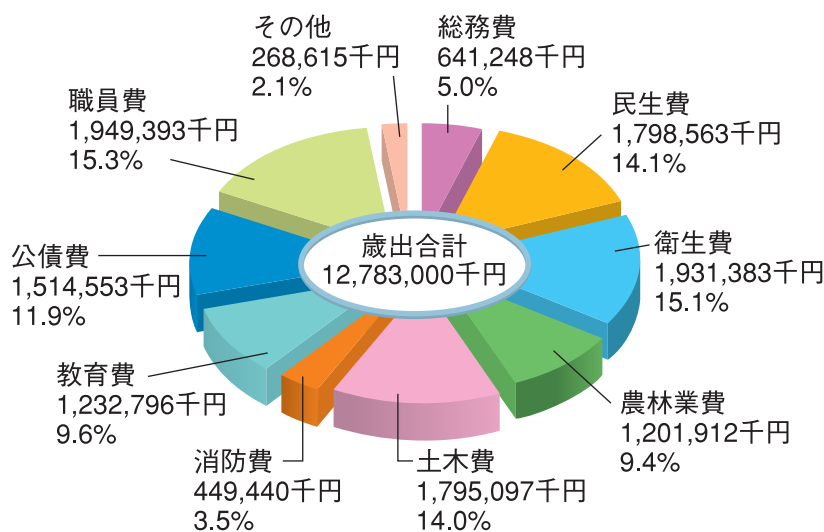


234億の予算を審議しました。

◇平成22年度一般会計、各特別会計、企業会計は予算審査特別委員会（委員長吉田貫一議員）に付託されました。

委員会は3月9日・10日及び15日・16日の4日間にわたり、慎重かつ熱心に審議が行われました。

3月18日定例会最終日に平成22年度一般会計予算外、各会計予算ならびに関連条例などについて討論があり、飯島佐市議員、弾正原正議員が賛成討論を行い、採決の結果、賛成多数により原案どおり可決されました。



平成22年度 中標津町の予算規模

(単位：千円)

会 計 名	平成22年度	平成21年度	比 較	伸 率
一 般 会 計	12,783,000	12,829,000	▲ 46,000	▲ 0.4%
特 別 会 計	5,326,857	6,058,360	▲ 731,503	▲ 12.1%
国民健康保険事業特別会計	2,624,699	2,610,196	14,503	0.6%
老人保健特別会計	488	1,447	▲ 959	▲ 66.3%
後期高齢者医療特別会計	188,043	186,821	1,222	0.7%
介護保険事業特別会計	1,191,555	1,194,441	▲ 2,886	▲ 0.2%
公設地方卸売市場事業特別会計	13,580	13,438	142	1.1%
町営牧場特別会計	63,884	66,875	▲ 2,991	▲ 4.5%
下水道事業特別会計	961,431	1,680,324	▲ 718,893	▲ 42.8%
簡易水道事業特別会計	283,177	304,818	▲ 21,641	▲ 7.1%
企 業 会 計	5,373,907	5,169,227	204,680	4.0%
水道事業会計	692,708	694,248	▲ 1,540	▲ 0.2%
病院事業会計	4,681,199	4,474,979	206,220	4.6%
合 計	23,483,764	24,056,587	▲ 572,823	▲ 2.4%

平成22年 3 月定例会
予算審査特別委員会一問一答

◆ 収納向上対策推進経費

コンビニ収納対策が盛り込まれているが、効果予測及び嘱託員雇用の費用効果はどうなっているか

軽自動車税の納税効果は、86.2%に上りました。

◆役場庁舎耐震改修事業

この事業にかける工期はどの位を設定したか。

【答弁】300日を予定している。

地下1階からペントハウスまで300日もかけてコンクリートの打増しや開口部の補強をするなら、同時に地球温暖化防止の視点から、断熱改修や設備改修も同時に計画するのが効果的というものではないか。

【答弁】

国からのメニューを選択した結果なのでご理解いただきたい。

◆土地所得費（土地開発公社）

土地購入を行っているが遊休地はないか。

【答弁】 現在、土地開発公社が保有している土地はございません。

◆歳入における入湯税の使途

湯税も一時期は1千円近くあったが、今期は800円と下りた。事だが、この税については町民との協働の視点から目標額を越えた分の1割を観光業者による自由組織に支出して、その目的の施策に充てて使ってもらうなどの考えられないものか。

現在も観光振興にかかわる社会インフラ整備に使わせていただきたい

【答弁】 議員発言の趣旨に添えるべく全力を尽くします。もし体制が不足であれば、補正も考えたい。

◆一般廃棄物処理に要する経費

【質問】

施政方針演説中にも、別海町で展開中のガス化熔融炉のメーカー保証期間終了にともない、自治体側の持ち出しの増大が予想され、結果として町民への負担を求め、予定の発言があるが、そもそも同施設の運用にあっては、消耗品パッキンや耐久設備の分別と年度別に予想される維持費の予測など、事前にチェックできる体制が明確に見えてこない。

同施設建設にあたっては、巨額の管理費を受け取ったコンサルタントもいる事で、彼等の責任はどうなっているのか。同施設建設時に視察した際に水の流れる管の素材がステンレスではなかった事などを考え合わせると、ゴミの排出量の一番多い我が町の発言力はもっと強化されるべきと考えるが。

【答弁】

広域連合にあっては今後、直営のホームページなどにより直接地域住民にメッセージを発信していく事を予定しているが、議員指摘の懸念が払拭されるよう働きかけてまいります。

◆環境基本計画策定経費

【質問】

今年度予算に22万9000円計上されている環境基本計画策定作業であるが、これで地球温暖化に対応する現状の数値把握が可能であろうか。

単なる手法の羅列ではなく、明確な数値目標の設定と具体的な方策の提示がなければ何ら実効性を持たないのではなかろうか。どう考えても、人と金が足りないと思うのだが、この際現状の二酸化炭素発生源に関する調査のためにコンサルタントの採用も考えられるのではないかと。この際補正予算に計上する事も現場を点検して考えるべきと考え

【答弁】

議員発言の趣旨に添えるべく全力を尽くします。もし体制が不足であれば、補正も考えたい。

◆共生型交流拠点施設整備事業

【質問】

図書館南側の旧役場跡地を200㎡に今回、木造170㎡平屋建て2階建ての施設を近接して建築していくが、敷地の南側には中津では貴重なさくらんぼの木が2本あり、将来の増築も視野に入れると敷地はかなり狭いと思われる。

複合施設としての配置と平面プランについて十分な検討が必要であり、結果によっては敷地の拡大も視野に入れたフレキシブルに対応すべきではなかろうか。また所管の委員会とも緊密に連絡を取り合って建設を進める事を確認していただきたい。

【答弁】

指摘されている問題を十分踏まえて着工していきたい。さくらんぼの木を切る事はしないで配置委員会と十分意見調整して着工していく。

◆町営バス

【質問】

町営バス（養老牛、俣落、武佐線）の朝の運行時間は高校生には早すぎると思うので時間の見直しと昼のバスの乗車率が低い状態にあるが、何か対策を考えているか。

【答弁】

運行時間については、他路線との継がりや通院利用者のため今の所考えておりませんが、地域の声を聞きながら対応してまいり、また昼のバスについては、利用者が少ないのは事実であり今後バスの更新時には29人乗り等小型化を考えてまいります。

◆中標津町外2町葬斎組合

【質問】

中標津町にある白樺斎場の建て替えの話があるが、どのような計画なのか、また羅臼町の葬斎組合

加入は考えていないのか。

【答弁】

22年度より中標津町と協議（場所規模等）を始めます。また羅臼町の加入については、今の所考えておりません。

◆乳がん、子宮がんの無料クーポン券事業継続

【質問】

乳がん、子宮がんは、早期発見と早期治療が可能になっていますが、まだまだ検診率が低いのが実態であり、女性の健康と生命にかかわる重大な問題です。検診の継続と定期的に行えるような方策は、継続については、国の無料クーポン券の事業の推移を見て今後検討します。

【答弁】

◆観光案内看板設置事業

【質問】

観光案内看板を計画するにあたり、中国語・英語・ハンガール・ロシア語等の配慮は考えているか。

【答弁】

検討してまいります。

【質問】

2ヶ所（養老牛・空港）に設置するがどのような看板をつくるのか。

【答弁】

昨年6月に「釣りバカ日誌」の撮影が行なわれたので、内容については松竹株式会社と打ち合わせをしては松竹地看板を設置する。

◆家畜ふん尿臭気対策費

【質問】

先進地情報収集を実施するが地元酪農家の先進的な取り組みを視察したか。

【答弁】

現在消息資料試験・ガスプランの研究・検討を行なっているが、コスト面・電気の使用等の問題があり検討中である。先進的な取り組みは視察していないが今年度計画します。

◆農業委員研修費

【質問】

道外研修を行ない何を研修して

くるのか。

【答弁】

道外研修は3年に1回実施し、今回は農地法の改正もあり、幅広い分野の見地に立つて実施をする。

◆都市マスタープラン定時見直し

【質問】

環境都市ではない環境「首都」にはオンリーワンの町としてのメッセージを発信する可能性が求められ同様の事を、大学教授も指摘している一方でこれを受け取る事が務方に覚悟が出ていないように思えるが。

【答弁】

今後、議員指摘の趣旨を反映させる様な都市マスに成就させてまいりたい。

◆景観形成推進経費

【質問】

北電の高圧鉄塔工事に際して、現場は標津川と当幌川の分水嶺で、知床連峰を眺めるに格好の場所であったが、景観審議会を招集したか。

【答弁】

貴重な景観という認識は私たちも不足した部分もあり、今後はこの辺もわきまえた中で業務にあたりたい。

【質問】

開陽台からのミルキーロード沿いに簡易水道のポンプ室が計画されているが、これは景観審議会にかけたか。

【答弁】

着工はこれからなので、しっかりと対応したい。

◆道路データ作成委託経費

【質問】

緊急雇用創出推進事業にも関わらず、地元企業でなく、他町の企業に委託したのはなぜか。

【答弁】

一部地元企業では出来ない部分があったので他町へ委託したが、緊急雇用創出事業なのでこれから地元企業優先に考えていきたい。

◆都市公園運営管理費

【質問】

734万円の増になったのはなぜか。

【答弁】

修繕料と管理費の増額であり、特に公園管理委託料や、賃金等に当てられるため増額となりました。

◆教育相談センター運営管理経費

【質問】

学校現場の不登校児が減っている訳ではないのに、指導センターの適応指導教育に来る生徒数がゼロになるのはなぜか。また自信を失い不安を抱えている子供達に対して受け止めて、共感を示すことが求められると思うが。

【答弁】

質問を受けて、それぞれの子供達に合ったサポートを検討して行きます。

◆農業高校教育実習扶助費

【質問】

資格取得でどのような資格を取るのか。

【答弁】

現在、扶助費で資格取得しているものは、ガス・アーク溶接・ボイラー取扱・食品衛生責任者講習となっており、その他任意で特殊作業講習やワープロ検定等実施しています。

◆中標津東小学校整備事業

【質問】

旧校舎の解体費の中にリサイクル出来る資材は活用するののか。

【答弁】

解体費の中でリサイクル出来る資材額を差し引いて予算化しています。

◆スクールバス等運行経費

【質問】

予算の増額と一日の集客・路線変更等は行なっているか。

【答弁】

新年度は10路線があり、特に開陽・俣落線については、路線延長で乗車人数が伸びていて、路線延長路線について、スクールバス運営協議会で協議をし決定しています。

常任委員会

活動レポート

議会には3つの常任委員会があります。
定例会から次の定例会が開催される間を「閉会中」といい、各常任委員会は
この間を活用し、所管する事項の調査をしています。
主な調査事項を報告します。

総務文教常任委員会

- 調査内容
- ・町税について
 - ・北方領土返還運動について
 - ・東小増改築事業について
 - ・児童生徒の実態調査について
 - ・町有財産の管理について



- (総務部)
- ・町税について
納税者に公平・公正で、いつでも、どこでも納税しやすい環境づくりのため、納付の場所と時間の拡大、納期の拡大・変更、納期内納付の推進についての22年度以降の取組みが提示され議論しました。
 - ・北方領土返還運動について
冬まつり最終日、関係者の方々と署名運動を昨年に引き続き行いました。
 - (教育委員会)
・東小増改築事業について
児童の引越し前に現地視察を行いました。
 - 校舎内には学校と思えない吹抜けや手洗いもあり、設計段階での問題など視察終了後、子どもの視点に立って議論しました。

北方領土返還を願って

厚生常任委員会

- 調査内容
- ・国民健康保険事業について
 - ・次世代後期育成支援行動計画について
 - ・新型インフルエンザについて
 - ・し尿処理手数料料金改定に調査内容について



- (町民生活部)
- 当町の国民健康保険税は、過去平成12・13年には続けて赤字会計となり、翌年に税率改正を行い、その結果、現在まで黒字体制が続き安定した運営を行っておりますが、昨年大きな問題となりました。国保税の引き下げ要望、また固定資産に対する賦課については、固定資産税との二重課税ではないかとの指摘もあり、試算割を廃止した3方式(所得割・平等割・均等割)に変更し課税します。
 - 平成22年度より全体的には、平均で7.9%の引き下げとなります。
 - また全体的の不足分については、基金等を活用し対応実施します。

国民健康保険税の引き下げ

産業建設常任委員会

- 調査内容
- ・建設工事進捗状況について
 - ・公設卸売市場について
 - ・(仮称)まちなか団地の基本設計について
 - ・道営事業に伴う簡易水道の認可変更について
 - ・天候不順等農業被害対策について
 - ・移住促進事業の状況について

- (経済部)
- ・天候不順等農業被害対策について
説明を受け議論しました。
 - ・移住促進事業の状況について
説明を受け議論しました。
 - ・公設地方卸売市場の陸屋根防水改修、外壁塗装改修工事の説明を受け現地視察を行いました。また23年4月の民営化に向け協議を開始した報告を受け議論しました。
 - (建設水道部)
・東小学校の進捗状況について説明を受け現地視察を行いました。
 - 現場作業完了
 - ・仮称、まちなか団地の基本設計について建築計画の概要について説明を受け、議論しました。
 - ・建設工事・建築工事の進捗状況等の説明を受け、現地視察を行いました。
 - ・道営事業(担い手支援型)ケネカ地区に伴う簡易水道事業認可変更について説明を受け議論しました。
 - (その他)
・道営住宅に係る指定管理委託、中標津町普通河川管理条例の一部改正、中標津町準用河川管理条例の一部改正、中標津町都市計画マスタープラン総合検証定時見直し策定について説明を受けました。

各事業の進捗状況

意

見

書

平成22年度酪農畜産政策・価格対策に関する意見書

提出者 後藤 一男 議員

北海道の酪農畜産については昨年10月に価格の引き下げにつづき、配合飼料価格の高止まり、枝肉価格の低迷など楽観視できない状況にあり、担い手の確保をはじめ、酪農畜産農家に対する所得確保対策・生産基盤対策・資金対策等の総合的な政策を、中長期的視点に立つて積極的に実施すること。

「協働労働の協同組合法」の速やかな制定を求める意見書

提出者 柴野 忠征 議員

地域に必要なサービスを生活者みずからが資金と労働を提供し、地域社会の再生を目指す「協働労働」という新しい働き方が生まれてきている。

「労働」と「経営」と「出資」が一体となった「協働労働」という働き方は、生活者みずからが自発的・主体的に地域にかかわる市民運動・就業機会の側面を持ち、地域活性化につながるものと期待され、その活動が制限される等の課題が挙げられている。

よって国においては、この「協働労働」という就業機会を創出する新たな仕組みの根拠となる「協働組合法」を速やかに制定するよう要望する。

核兵器の廃絶と恒久平和を求める意見書

提出者 佐藤 武志 議員

我が国は、唯一の被爆国として、核兵器廃絶に向け先頭に立つて活動してきた。しかし、核兵器はいまだに存在し、人類は核兵器の脅威から解放されていない。

よって、国においては、核拡散防止条約再検討会議に向け、主導的役割を果たすとともに、核軍縮・不拡散外交に一層強力に取組まれることを要請します。

改正貸金業法の早期完全施行等を求める意見書

提出者 松村 康弘 議員

2006年12月に貸金業法が改正され今般完全実施を目前にしているが、消費者金融の成約率が低下したり、昨今の経済危機の中、中小企業者の資金調達が困難になっている事などをこ

「児童買春、児童ポルノに係る行為等の処罰及び児童保護等に関する法律」の改正を求める意見書

提出者 佐野弥奈美 議員

児童に対する性的搾取・性的虐待から児童を保護し児童の権利擁護を図ることを目的とする基本立場に立ち、児童ポルノを取得し、あるいは所持保管する行為を厳しく処罰するなど児童の保護において実効性のある措置が講じられるよう強く要望する。

ヒブワクチン及び肺炎球菌(七価)ワクチンの定期接種の早期実現を求める意見書

提出者 吉田 貫一 議員

細菌性髄膜炎は乳幼児がかかる病気で、初期には発熱以外に特別な症状がなく、死亡率5%、後遺症が残る率20%と言われている。しかしこの病気には既にワクチンが開発され国内ではよ

うやく接種が始まったが任意接種のため、4回接種で約3万円もかかり大きな負担となっている。

次の事項の実現を要望する。

- 一、速やかに予防接種法に基づき定期の予防接種とする。
- 二、ワクチンの早期承認と定期予防接種に位置づける。
- 三、ワクチンについて乳幼児がいる世帯に周知する。

私学助成制度に係る財源措置の充実強化に関する意見書

提出者 飯島 佐市 議員

私立学校は、建学の精神と独自の教育理念のもとに公教育の一翼を担うものとして、我が国の教育の振興発展に大きな役割を果たしているが、その経営基盤は依然として脆弱である。

国においては、私学教育の重要性や公立・私立間の生徒等納付金格差の状況など、私学を取り巻く厳しい状況を認識し、都道府県が実施する私学助成制度に係る財源措置の一層の充実強化に努められるよう強く要望する。

北方領土問題の解決促進に関する意見書

提出者 熊倉 重樹 議員

- ・ 国民世論の結集と国際世論の喚起等北方領土返還要求運動の一層の促進を図ること。
- ・ 特別措置に関する法律に基づく北方領土隣接地域の振興対策等を促進すること。
- ・ 四島交流事業の円滑な実施と実施団体への支援強化を。
- ・ 元島民に対する援護対策と墓参や四島自由訪問事業の拡充強化を図ること。

平成22年 1 月から 3 月までの行事関係

期 日	行 事	出 席 者	期 日	行 事	出 席 者
1 月 6 日	新年交礼会（中標津・（計根別会場雪のため中止））	議長、議員	2 月 19 日	産業建設常任委員会	6 / 6
7 日	中標津町成人式	議長、議員	21 日	中標津町福祉のつどい	議長、議員
8 日	中標津消防団出初式	議長、議員	3 月 1 日	農業高校卒業式	議長、議員
	中標津青年会議所新年交礼会	議長	3 日	議会運営委員会	6 / 6
12 日	議会広報特別委員会	5 / 5	4 日	中標津町外 2 町葬斎組合、根室北部消防事務組合、根室北部廃棄物処理広域連合議会定例会、根室北部衛生組合定例会（中標津町）	議長ほか関係議員
	計根別駐在所開所式	議長、議員	7 日	岡田外務大臣北方領土視察（根室市）	議長
13 日	厚生常任委員会	6 / 6	8 日	総務文教常任委員会	6 / 6
	産業建設常任委員会	6 / 6		厚生常任委員会	6 / 6
15 日	第 1 回臨時会	18 / 18		産業建設常任委員会	6 / 6
	第 32 回中標津町表彰式	18 / 18		議会運営委員会	6 / 6
	中標津町商工会新年恒例懇談会	議長		3 月定例会本会議（1 日目）	18 / 18
18 日	議会広報特別委員会	5 / 5		全員協議会	18 / 18
21 日	北海道中小企業家同友会南しれとこ支部新年交礼会	議長	9 日	3 月定例会本会議（2 日目）	18 / 18
23 日	交通安全活動推進会議	議長		予算審査特別委員会（1 日目）	18 / 18
29 日	厚生常任委員会	6 / 6	10 日	予算審査特別委員会（2 日目）	18 / 18
2 月 3 日	道議会北方領土対策特別委員会意見交換（根室市）	議長	11 日	厚生常任委員会	6 / 6
	冬祭り雪像制作団体陣中見舞い	副議長		産業建設常任委員会	6 / 6
4 日	総務文教常任委員会	6 / 6	12 日	総務文教常任委員会	6 / 6
5 日	第 6 期中標津町総合発展計画等特別委員会	8 / 8	15 日	予算審査特別委員会（3 日目）	18 / 18
6 日	冬祭り開会式	議長	16 日	予算審査特別委員会（4 日目）	18 / 18
7 日	2010「北方領土の日」根室管内住民大会（根室市）	議長、議員		議会運営委員会	6 / 6
16 日	総務文教常任委員会	5 / 6	18 日	3 月定例会本会議（3 日目）	18 / 18
	農業高校教育懇談会	議員		全員協議会	18 / 18
18 日	釧根林活研修会（釧路市）	林活会長ほか	26 日	議会広報特別委員会	5 / 5
			31 日	議会広報特別委員会	5 / 5

※出席者欄の数字は左側が出席者、右側が定数

議会からのお知らせ

「議会を傍聴してみませんか」

議場には傍聴席が30席あり、先着順に議会傍聴できます。傍聴者には参考資料を配布し、議会の取り組みが理解できるよう対応しています。一人でも多くの方々に傍聴していただきたくご案内します。

その他、議会に対する要望などがありましたら議会事務局にお申し出ください。

議会だよりに対する
ご意見をお寄せ下さい。

〒086-1197
北海道標津郡
中標津町丸山 2 丁目 22 番地
中標津町役場

TEL (0153) **73-3111**
FAX (0153) **73-5333**

〈議会事務局にご連絡を〉

- ・ホームページは
<http://www.nakashibetsu.jp>
- ・メールは
nakasi-t@aurens.or.jp

発行／中標津町議会

編集／中標津町議会広報特別委員会

今年の冬は例年になく、降雪量も多く、寒さも一段と厳しく除排雪にも大変ご苦労されたことと思います。

春まだ遠い道東中標津にも三月下旬となりネコヤナギの芽も膨らみ初め日一日と春の気配が感じられるようになり、新緑が待ち遠しい季節となりました。

年度変わりには別れと出合いの時期でもあり、それぞれの思いを胸に職場を去る人、学び舎を巣立つ子供達、夢と希望のなか仕事に就く人など、特に初めて小学校に入学する子供達を見る

とき、自然と心が和み、笑みがこぼれ、次の世代を背負って

らうためにすすくと育ってほしいものと思うと、成長を期待せずにはいられません。

町も22年度の予算が成立し新たな気構えで町理事者は予算執行にあたっていただきたく思いますし、議会も色々な面でのチェック機能を発揮してまいります。

本年度は自治基本条例の策定をはじめ、23年度から始まる第6期中標津町総合発展計画策定など町民の皆様方のご意見を十分にいただきますのでご理解とご協力をいただければ幸いです。

編集を終えて



議会だよりは、環境保護のために100%植物油型インキ「ナチュラリス100」を使用しています。